

導入事例
CASE 4

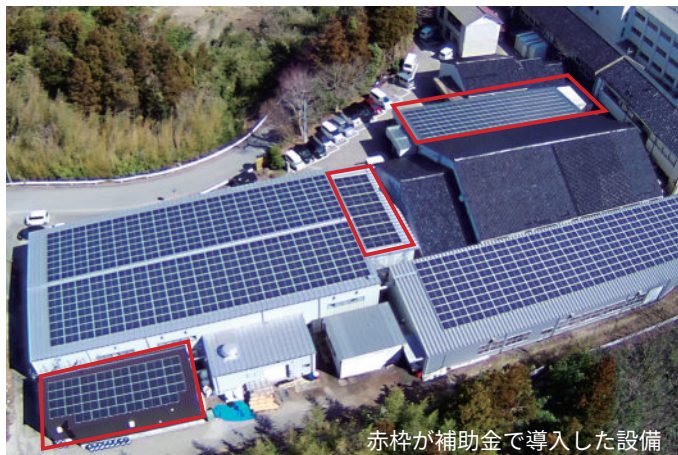


佐渡島内における自家消費型産業用太陽光発電設備導入の先導的モデルを目指す。

佐渡精密株式会社

※令和4年度実績

【事業実施場所】佐渡市沢根 【設立年】1970年（昭和45年）【資本金】1,100万円 【従業員数】108名
【事業内容】機械加工部品の製造及び組み立て



赤枠が補助金で導入した設備



写真左3基が補助金で導入した設備

価格高騰対策と環境負荷低減のために、さらなる太陽光発電設備導入を実施。

佐渡精密は2007年にISO14001の認証を取得し、早くから、環境負荷の低減に取り組んできた。2016年からは、環境マネジメント活動を「エコアクション21」に切り替え、環境経営システムの仕組みのもと、CSRを果たすべく環境活動を推進してきた。

太陽光発電設備についても2020年に本社工場の屋根に設置している。今回の事業では、昨今のエネルギー価格高騰に対するコスト低減と環境負荷のさらなる低減を目的として高効率の太陽光発電設備増設を行った。



顧客の要望に応えつつ低炭素化を推進し、企業の社会的責任をしっかりと果たしていきたい。

同社は、佐渡島という立地上のハンディとも思われる環境の中にありながら、「安心いただける品質」「競争力のある価格」「離島を感じさせない納期」という価値を提供しつづけることをモットーに金属精密部品を提供している。国が示した脱炭素社会を実現していくために、様々な施策に積極的に取り組んできた。

今回、これまで以上に使用電力の再エネ比率を高めるために太陽光発電設備の導入を実施。サプライチェーンから、環境に対する取り組み強化の要請も強くなってきている今、積極的に脱炭素化に取り組むことで、佐渡島内はもとより、製造業として自家消費型産業用太陽光発電設備導入の先導的モデルを目指していく。

■ 太陽光発電設備 基本情報 (今回導入設備)

| | | | |
|----------------|---------------------------------|---------------|----------------------------|
| 導入方式 | 自己所有 | 事業期間(稼働時期) | 2022年12月～23年1月(23年2月) |
| 年間予想発電量(kWh/年) | 79,650 kWh/年 | 総事業費・補助金額(税抜) | 14,500,000円(補助金3,000,000円) |
| コスト効果(円/年) | 2,530,480円/年(高圧) ※単価31.77円として算定 | | |

■ 太陽光電池モジュール

| | | | |
|---------|-----------------------------|------|----------|
| メーカー・型番 | Jinko Solar JKM475N-60HL4-V | | |
| 出力 | 475 W | 設置枚数 | 186 枚 |
| | | 設備容量 | 88.35 kW |

■ パワーコンディショナー

| | | | |
|---------|----------------------|------|---------|
| メーカー・型番 | SMA STP25000TL-JP-30 | | |
| 設置台数 | 3 台 | 定格出力 | 25.0 kW |
| | | 合計出力 | 75.0 kW |

■ 電気自動車 基本情報

| | | | | | | | |
|---------|--------------------|------|---------|------------|------------|--------|----------|
| メーカー・型式 | 日産 リーフ e+X ZAA-ZE1 | 登録年月 | 2023年1月 | 車両本体価格(税抜) | 3,841,000円 | 補助金額合計 | 850,000円 |
|---------|--------------------|------|---------|------------|------------|--------|----------|